

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
1	R3. 5. 10安塚区	令和2年の大島区での意見交換会時に、議員から上越市の財政調整基金があと5年で枯渇すると説明があった。令和3年度予算では、今冬の大雪があったにもかかわらず財政調整基金が増えた理由を聞きたい。	国から大雪災害に対する支援があったため。しかし、上越市も財政が厳しく、あと4年で50億円ほどまで減少すると考えられており、不足するのは事実。公の施設の適正配置計画についてもきちんとしていかなければならない。今後もしっかりと行政のチェックをしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
2	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	上越市のふるさと納税について、現在の返礼品には市の第3セクターの利用券があるが、それだけでなく市全体で使える商品券なども考えてほしい。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 元来、ふるさと納税制度は返礼を目的としたものでなく、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」、「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」として、希望する自治体に「寄附」という行為で応援するという制度です。 この制度の趣旨に沿って、当市では寄附者の方々と「心をつなぐ」ことを基本方針に、返礼品については、当市へ実際に訪れていただくきっかけづくりとし、当市とのつながりをより一層深めていただけるよう、「モノ」でなく「コト」を贈呈することとし、観光施設等の入場券や宿泊利用券、観光列車の乗車券等を贈呈しているところです。 ご意見をいただきました、市内で利用できる商品券については、最終的に寄附者の方々へ「モノ」を送付することと考えており、現段階で返礼品としては考えていないところです。 なお、当市特産品のPRや市内事業者への支援については、ふるさと納税制度とは切り分け、さまざまな制度を通じて行っており、ふるさと納税制度については、今後も当該制度の趣旨に沿った運用を行っていきます。（用地管財課）
3	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	直江津アートプロジェクトについて具体的な内容を知りたい。	実行委員会に対して、6,800万円（国から3,400万円、企業からの寄付金が1,000万円、残りは市の支出）の予算がついている。子どもたちが船見公園の海岸線で流木等を拾い、水族博物館でアートを作る予行演習が行われた。市民が作るプロジェクトであり、議会としては予算を認めた。ライオン像のある館や海岸線など、離れている複数の場所にアート作品を展示し、街中を回遊するイメージで予定されている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
4	R3. 5. 13板倉区	直江津うみまちアートプロジェクトはいいアイデアだと思う。光ヶ原高原は風光明媚でいい所だが、それだけではやっていけない。新幹線の駅を活用した集客についてどう考えるか。	観光振興については、上越市から方向性が出ているが、なかなか上越市から満足のいく回答が得られず、上越市と議会の方向性が合致していない。要望があれば議会や直接上越市に伝えてほしい。 板倉区は新幹線の駅が近い。観光や人的交流は各地域の特色を捉えて検討していく。上越市の市民性で1つの観光資源を磨き上げるのは難しく、平等に扱わなければならない。しかし、すべて平等に扱ってはいけなくはない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
5	R3. 5. 10安塚区	令和3年度に6,800万円の予算がついた直江津うみまちアートプロジェクトについて、新型コロナウイルスワクチン接種も始まっているが、コロナ禍で地域のお祭りも自粛しているのに、本当に実施できるのか。	コロナ禍であるが、市は三密を避けるなどの策をして万全な体制で実施すると考えている。企画、内容については具体的には把握していない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
6	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	直江津地区はエルマールと水族博物館がキーになっていると思うので、直江津駅などの公共交通機関からエルマールや水族館までアークードを作り、雨や雪が降っても歩いていけるように結んで欲しい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
7	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	関川の中洲の砂を撤去しないと、雨が降れば間違いなく溢れると懸念している。いつ撤去するのだろうか。	関川の中洲について、河川管理者は国になる。国管理区域としては、上流は東城町1丁目、関川と矢代川の合流地点までは国の管理なので、ご意見として承って、国の方にお伝えしたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 関川の河川管理者である国土交通省高田河川国道事務所は、河道内に堆積している土砂の状況を見ながら順次撤去を実施していますが、適切な河道が維持されるよう引き続き要望していきます。 （河川海岸砂防課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
8	R3.5.9合併前上越市（春日区）	市民と市長の距離が遠いと感じる。市長の顔が見えない。副市長の顔も見えない。実際に市民の声は届いているのだろうか。例えば今冬の豪雪で市長からメッセージなどがあれば全然違うのではないと思う。もっとマスコミを使って市長の言葉を伝えて欲しい。	市長もきちんと会見しているが、市長メッセージとして文書での発信も多いので、市長の顔が見えづらいという思いに繋がり、市民としては物足りないと感じてしまうかもしれない。議会も自らの問題として受け止めて、顔の見える活動をしていきたい。行政にも伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R3年7月時点）】 報道機関を通じた市政情報の更なる発信強化及び市民が求める情報を発信するため、令和3年度から市長による定例の記者会見や記者懇談会に加え、担当部局長及び担当課長による記者説明会を実施しているところです。 また、市長が発信すべき案件や場面においては、臨時記者会見の開催やメッセージの発出も行っていきます。 ご意見を踏まえ、今後も適時適切な情報発信に努めます。（広報対話課）
9	R3.5.9合併前上越市（春日区）	コロナ・大雪関係で市役所に電話をしても、なかなか取り次いでもらえないという話が周囲から聞かれる。オンブズパーソンで意見を取り扱ってもらえると聞いて連絡してみたが、返答がなく、実際に市長へ届いているのかわからない。新規採用職員が応対したと思われる電話も、話が通じていると思えなかった。	職員の資質について、議会としてはしっかりやってほしいと伝えることしかできないが、市職員はきちんとメモを取って連絡報告しているはずである。電話を受ければ、必ず上司への報連相は必ずされている。もちろん、全部の意見が市長に上がるわけではないかもしれないが、ご要望に対して求めている回答がない、市民の方へフィードバックしているかどうか、きちんと行政を監視していく。今冬の大雪に関しても8,000件の苦情があったが、きちんと聴かれているはずである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
10	R3.5.9合併前上越市（春日区）	市の防災ラジオを使っている市民は少ないと感じている。試験放送が大音量のため、消している家もある。2月に地震があった際は、防災ラジオをつけて朝まで起きていたが、周囲の家は真っ暗で地震があったことも分かっている様子がなかった。防災ラジオの使用・普及について聞きたい。	防災ラジオの配布から期間が経過しており、所持率や機能しているか実態を調べてみたい。また、試験放送は大音量でないと届かないため、うるさくなるのは仕方なく、機能の確認のためにも必要である。今冬の大雪時にも除雪状況やゴミ収集の中止など放送して欲しかったが、市からは命に関わる内容しか放送できないと話があった。今後、市では防災ラジオの有効活用について検討していくため、議会としても監視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
11	R3.5.10安塚区	13区の消防団は統合等により減少している。しかし、けが防止のため消火栓は消防団以外が触れてはならないと議会で決まったとのことだが、実際に火災が起きたときに消火器だけで消火できるわけがない。そのような事情を踏まえ、集落ごとの自主防災組織は、例外として認めるなどの対応が必要ではないか。	総務常任委員会では、自分たちのまちは自分たちで守らないといけないという精神で議論を進めている。地域協議会でも、自分たちでなんとかしないといけないという共同の精神でまちづくりをしていただきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 (概要)
12	R3. 5. 12柿崎区	原発について聞きたい。事前了解権を含む安全協定について、議員に様々な立場があることは理解しているが、市民の安全安心を守るという観点から、立場を越えて議論をし、勉強していただきたいと思います。	UPZについてはなかなか難しい問題。それは、一つには私たちに判断材料となる基礎的なデータがあるのかということ。今一つは私たち自身の一人一人に判断能力が備わっているのかということ。県においては専門的な見識を持つ方々が議論をして報告書等を出している。そうした状況の中で市単独で動くことは難しいが、おっしゃることは十分に理解をしている。近くにあることは間違いないので、今後も真剣に考え、議員それぞれ取り組んでいく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
13	R3. 5. 10安塚区	公の施設を廃止する際、当該施設が避難所となっている場合、代替の避難先はどうなるのか。安塚区でも該当する避難所がある。例えば、中川地域生涯学習センターも適正配置の対象となっているが、その対応はどうなるのか。	適正配置の対象施設で現在避難所になっている施設は市内にも沢山あるが、行政側も市民のみならず丁寧に説明しながら適正配置を進めていくと考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
14	R3. 5. 12柿崎区	公の施設の適正配置について、柿崎区においては温浴施設が対象となっている。また、重要な観光資源であるキャンプ場やアスレチック施設も対象となっている。市は今後どのようなランドデザインを描いているのか示されていない。パブリックコメントも行ったが、明確な回答は得られなかった。進め方に不自然さを感じているがどうか。	公の施設の適正配置については、様々なご意見を頂いている。どこをどうしていくか、予算的な問題がベースにあると思う。「何とかならないか」というご意見も頂くが、市も施設の経過年数や利用者数、公費負担の状況等のデータを見ながら検討している。福祉や教育の予算はなかなか減らすことは難しい。人口減少が進行する中で無理が言えない状況である。第三セクターに関するご心配は議会にも多く寄せられている。これは非常に複雑な問題。第三セクターについてはまず市の見解を各法人に伝えて、その方向に沿った取組を促していく。その後の法人の経営健全化や民営化に向けた具体的な動きに応じて必要な報告等を随時議会に行っていくことになっている。検討結果については、①廃止を検討する、②民営化、③統合を検討する、④経営健全化を検討していく、⑤現状維持、の5つがある。第三セクターについては、これらに基づき今後皆様に提案されていく。変更もあり得ることであるので、皆様が必要であれば市の方に強く訴えられていく必要があるのではと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 （概要）
15	R3. 5. 13板倉区	公の施設の再配置計画に関するパブリックコメントを実施するとの説明があったが、議会だより2月号には「公の施設の再配置について、市民の納得をする説明努力を尽くすことを求める請願」が不採択になったと掲載されていた。請願が不採択になってからの間に、どのような経緯でパブリックコメントを実施することになったのか聞きたい。	3月に総務管理部からパブリックコメントを実施すると議会に話があり、議会としては地元との話し合いは既に完了していて、あとは計画を出すだけの段階だと認識していたので疑問だった。まだ、各温浴施設についての問題は整理がついておらず、整理ができない限り行政が考えているような計画執行にはなっていない。公の施設の統廃合については、地元にとってはコミュニティの場となっているので、行政も真摯に対応している。議会としては、総論としては賛成したが、民意はこれでいいというわけではないので、そこはご理解いただきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
16	R3. 5. 10安塚区	上越市、特に安塚区は人口減少が深刻だが、総務常任委員会ではどのように取り組んでいるか。	人口減少は安塚区だけの問題ではないと考える。議会においても人口減少問題を扱う特別委員会がある。上越市では、これまで児童手当制度などの様々な政策を実行してきた。自然減、社会減も歯止めが効かない。特に安塚区の方はそう感じていると思う。ぜひ努力していることは理解していただきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
17	R3. 5. 10安塚区	人口減少が問題になるのは、何十年も前から誰もがわかっていた。国からの補助金で行政は動いていますでは困る。議会の中で具体的に話し合って政策提言するなど、議会としてどう対応するのか聞きたい。	人口減少問題はなかなか大変。議会では人口減少対策特別委員会を立ち上げ、取り組んでいるところである。人口減少問題の解決の答えは1つではない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
18	R3. 5. 10安塚区	人口減少問題について、自分の孫を安塚区の小学校に通わせようと思っても、生徒数が少ないので、集団生活を学ぶことができないなどの不安がある。これからどう対策していくのか。	今の体制を継続できるか不安。以前、当委員会で湯沢学園の視察を行った。そこでは1つの学校に保育園と小中学校が入っていて、何より子ども達の目が生き生きとしていたのが印象的だった。複式学級のメリットもあると思うが、湯沢学園のようなやり方も1つだと思ふ。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
19	R3.5.12柿崎区	問題点を整理して、地域協議会として市に意見書を出していく意向であるので参考にさせていただく。平成23年に第三セクター経営分析結果がまとめられ、地域協議会にも資料を頂いた。その時点では私たちの地域にある温浴施設は比較的高い評価を頂いていた。第三セクターの経営改善のためにJホールディングスを作ったが、Jホールディングスそのものに問題があったのではないかと考えている。その反省に立って、私たちの大切な温浴施設にもご理解を頂きたい。	お話はしっかりと承った。行政に伝えていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 Jホールディングスについては、人口減少や少子高齢化などの社会情勢の急激な変化に伴う商圏の縮小を背景に各事業子会社とも売上げを落としており、新規顧客の獲得等、営業面での苦戦が響き、なかなか成果を挙げられていない状況です。市としては、グループ全体のスケールメリットをいかした経営の効率化に努めるよう引き続き要請していきます。 なお、令和2年度に策定した「第四次公の施設適正配置計画」において、温浴・宿泊施設は、「引き続き協議」としたため、地域の皆様の声を聞きながら、今後の方針を決定していくこととしています。（施設経営管理室）
20	R3.5.13板倉区	地域協議会制度の見直しをしてほしい。旧町村にこだわり過ぎており、今の制度のままでは市民の一体感が生まれにくい。例えば、公の施設について地域協議会に意見を求められるが、地域協議会に聞くだけでは市民の意見を聞いたことにはならない。事前に知らされることなく、その場で知らされ、当該地区にだけ諮問させる等問題点もあるので、抜本的に見直してほしい。328人の委員を年に数回、一同に会して勉強会をするなどしてはどうか。地域ごとや会長だけ集まって開催しても、本当のまちづくりにはならない。ホームページに地域協議会の資料が掲載されるのが遅い。3月末に開催された会議の資料がまだ掲載されていない。議事録が掲載されるのは1か月程度かかっても理解できるが、せめて資料だけでも翌日には掲載してほしい。	議会の動きとしては、総務常任委員会が所管事務調査を行っている。合併から17年で歪みも生じている。地域自治・住民自治の提言を来春に提出する予定でいる。市民の方から意見を聞く会を6～7月に開催する。地域協議会とはその地域のことを考えるためにある組織であり、全体を考えるのは市議会の役目であると考えている。諮問のあり方についてはこれから研究していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
21	R3.5.13板倉区	地域協議会の任期を終えた人へのアンケートについて、それに対して行政の対応がはっきりしない。	アンケート結果の途中経過は市議会に報告があった。すぐに対応すべきものは、6月に地域協議会の在り方について、対応方針を出す。それ以外は、令和4年度中に対応する。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
22	R3.5.9合併前上越市（春日区）	上越市の医師不足について、保健所に行って医師数を確認しても、満足のいく数ではないと判断できる。市役所にも質問に行ったが満足する回答がない。市内の空き家を市が買い取り、リフォームして一定期間医師として市内で働く場合に、無料で提供する施策を講じることで医師に来てもらってはどうか。	医師不足について、大きな病院では労災病院、妙高市のけいなん総合病院が医師を充足できず、病棟を閉めている。医師の高齢化も懸念されている。空き家の活用を含め、行政ですっきり検討が必要であると考えている。また、空き家や空き店舗などを移住定住促進に有効活用することが検討されており、特に空き店舗は、シェアハウスやIT関連企業の誘致など関係人口作りが検討されている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
23	R3. 5. 12柿崎区	障害のある方への対応について、私の家族は聴覚に障害があり、コロナ禍で常にマスクを着用するようになっていたため、会話の際に口元が見えず何を言っているのか分からない。公の場では何とか対応できないものかと思う。例えば、マスクの改良とか十分な距離を取ってマスクをかけずに話すとか、そういった対応を公の場ではしていただけないものかと思う。	福祉の担当課に伝え、公の会等で必要が生じた場合、できる限りの対応ができるよう働きかけていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R3年7月時点）】 現在のところ、職員が公の会等に出席する際は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、マスクを着用することとしていますが、聴覚に障害のある方に可能な限り円滑に情報が伝わるよう、配慮について検討していきます。 また、マスクの着用など新しい生活様式における障害のある方への配慮について、広報上越や市ホームページ等を通じて周知していきます。 なお、福祉総合相談窓口や市民課、国保年金課、こども課等の窓口対応課（13区含む）では、アクリル板等による飛沫飛散防止対策を講じた上で、聴覚に障害のある方からの要請に応じて、マスクをフェイスシールドに変更して窓口対応をしています。（人事課、福祉課）
24	R3. 5. 12柿崎区	最終処分場について、これは県の事業であるが、分かる範囲で答えてほしい。 ①地域協議会の資料に「誘致を表明したのは上越市のみ」とある。その経緯を教えてください。 ②「検討委員会で現地調査をした」とあるが、時期が冬期間である。積雪期に果たして調査ができたのか疑問である。 ③上越地域において処分場の適地は他にもあると考えるが、候補地が柿崎に集中したのはなぜか。	県の事業であるため知り得ている部分、認識している部分でお答えする。 ①県下、上・中・下越という枠組みの中で出雲崎（の処分場）が間もなく満杯になる。そうした状況の中で「次は上越」という流れになったのではないかと認識している。 ②文献調査で実施したものである。 ③柿崎区に集中したのは、市街地から離れていること、地すべり地域から外れていること、上中下越といった立地的なこと、高速道路に近いこと等によって絞り込まれたと認識している。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
25	R3. 5. 12柿崎区	最終処分場の候補地の地目は山林であるが、現状は相当に荒れていると思う。また、高速道路の東側には養鶏場や頸北斎場がある。荒れている土地なので、現地の人間で土地勘がないと分からない場所。実際にどのような調査をしたのか疑問が残る。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
26	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	関川沿いの春日区の町内では、大雨になると内水氾濫が起きる。藤巻に国交省の大型の排水ポンプが配備され、水害時もかなり能力を発揮すると思われる。市でも、関川の水位がどのくらい上がれば氾濫するか分かっていると思うので、システム化して配備して欲しい。地元消防ポンプについても、雨が降ってもそこにあるだけの状況だと思うので、設備面も整備して欲しい。また、保倉川放水路の整備により関川の水位が下がれば、地元春日区の水害リスクも下がるのではないかと思いますので、早めに検討して欲しい。	上越市は平坦であり、水害が起こりやすい地形でもある。保倉川放水路計画について、新しいルートが示され、具体的に動き始めている。市では雨水管理総合計画を策定し、令和3年度予算では、春日新田と鴨島に排水ポンプを設置するとしている。また、市が行うべき整備をして、排水ポンプの設置と同時に、移動式の内水処理ポンプも購入するなど、予算も動いている。春日地区での課題であることは間違いないので議会としても注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
27	R3.5.9合併前上越市（春日区）	令和3年度予算における春日山アンダーパスの冠水注意喚起システムの設置費用を開きたい。費用が少なければ、五智のアンダーパスにも設置してほしい。	冠水注意喚起システムだけの事業費では予算計上されおらず、道路維持費の中の道路管理業務として約6,700万円が計上されており、その一部が設置費用になる。導入による効果があると判断できれば、順次、修繕時に必要な箇所への設置も検討されると考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
28	R3.5.10安塚区	春日山アンダーパスの看板が見えにくい。春日山アンダーパスの冠水注意喚起システム設置事業は、どのようなことをするのか。ぜひ、見やすい看板を作ってほしい。	豪雨による道路冠水の危険を事前に感知し、通行止めを告知するためのシステムを導入するもの。ご要望があることを行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 冠水注意喚起システム設置工事は、6月23日に発注（契約）し11月の稼働を目指して事業を進めています。 工事の概要は、春日山アンダーパス手前の交差点2箇所に各3基ずつ計6基の電光標示板（縦1500mm×横550mm）及び赤色回転灯を設置するものであることから視認性に優れているものと考えています。（道路課）
29	R3.5.9合併前上越市（春日区）	信号機に「ここは海拔何m」と表示してはどうか。その海拔よりも高いのはこっち、あっちなど矢印をつけて表示すると、県外の方でも分かるのではないか。この提案を市に伝えたが、その後特に連絡はない。立ち消えにせず、ダメならダメでもフィードバックをして欲しい。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 平成24年に国土交通省は、東日本大震災で甚大な被害をもたらした津波被害を踏まえ、道路における海拔表示等の設置に関する取組の推進について通知しており、既に国において国道8号と18号の主要な交差点等に、海拔表示を設置しています。 また、市では津波浸水想定区域の、海水浴場や比較的高い浸水深が想定される沿岸部の主要な道路の電柱など90か所に、津波発生時に沿岸部にいる観光客等の迅速な避難行動につなげるため、高台等の避難場所への距離や方向を示す矢印、海拔等の情報を記載した「津波避難誘導表示板」を設置しています。 このように、海拔表示の設置に関しましては、一定の取組が完了していることから、今回ご提案の内容について、実施する予定はありません。（危機管理課）
30	R3.5.10安塚区	今冬の大雪で、災害救助法が適用された。当地域では、約10軒の雪掘りを行ったが、毎年とのことなので、それほど大変だった感覚はない。市街地の特に住宅街では、除雪ができず大変そうだったが、もしコミュニケーションがとれていれば、除雪機を持っている中山間地域の我々が除雪の応援に行けたかもしれない。今後、地域を超えた連携のサポート体制を作ってほしいと考える。	様々な条件があり簡単ではないが、そのようなシステムも1つの考えとして、委員会で議論し、市に伝えていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： 農建 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
31	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	温度0度の川の水を地下に押し込み、地下の温度で温くなった水を消雪に使う方法を提案する。狭い道路や重機の入らないところ、高齢者世帯のところに使えるようにしてはどうか。	ガス水道局庁舎の駐車場で循環型消雪システムを導入している。現在、試験的に運用しており、それが利用可能になっていけば合理的であると考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
32	R3. 5. 12柿崎区	今冬の豪雪による保安林の被害について、被害は深刻である。特に植えてから10年目くらいの若い樹の被害が大きい。私たちの家や生活を守る防風林・防砂林の実態把握をしっかりと、復興事業・補植事業等を検討してほしい。	自身も近くに住んでいるので保安林のすさまじい現状は理解している。しっかりと担当課に伝え復興に努める。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 今冬の大雪により、柿崎区から八千浦地区までの海岸部の保安林に、枝折れや幹の途中から裂けるなどの被害が発生していると承知しています。 保安林の維持管理については、町内会等が中心となって団体を組織し「緑の募金」森づくり事業を活用して取り組んでいることから、市では、その事業費の上限額を30万円から50万円に特例的に引き上げたほか、今回、各町内会等が処理した伐採木について、クリーンセンターへ持ち込んだ際の処分費用を減免し、負担軽減を図りました。 なお、今年度、保安林の指定者である新潟県が海岸保安林の被害状況を把握するための調査を9月頃から行うと聞いており、その結果を踏まえて補植事業等の検討が行われる見込みです。（農林水産整備課）
33	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	令和3年度予算における森林空間を活用した中山間地域の魅力再発見事業について、予算額や具体的な内容を教えてほしい。	市の単独事業で、中山間地域に移住定住し、そこで仕事をして頂くために魅力を発信していく取組である。令和3年度の目標として、市内外への情報発信を通じて、中山間地域との交流を図りながら、森林の現状やシステムを活用して頂けるよう、森林や中山間地域に興味を持つ方々を対象に、当市における里山づくりでの森林資源活用を紹介するシンポジウムを開く。令和3年度予算は41万3千円が計上されている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
34	R3. 5. 10安塚区	農業者の高齢化、担い手不足に関連して、スマート農業については議会でもどのように議論されているか。	スマート農業は大型化した水田で実施されると思われがちだが、市では中山間地域でもドローンを使った消毒散布作業や、機械を使った草刈りなどで活用できないかと研究を重ねている。中山間地域や棚田でもスマート農業を取り入れて、農業の意欲を持ってもらえるようにしていくと聞いている。スマート農業を活用して若者に農業を担ってほしいという意図がある。そこも含めて皆さんと一緒に取り組んでいきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
35	R3. 5. 10安塚区	スマート農業についての説明の中で、若者が農業に魅力を感じるためにとあったが、13区に人を集めて農業をしてもらうには、魅力よりも平場での農業より収入を得られるかどうかが大切だと考える。労力の低減はもちろん、収入源を上げる政策を考えてほしい。	委員会の中でも議論している。スマート農業は、全国の人にも関心を持ってもらうために、YouTubeでその様子を公開すると聞いている。子供向けの見学会を開催して関心をもってもらう予定。収入を上げる点については、米だけでなく園芸にも取り組んでいくと聞いている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
36	R3. 5. 13板倉区	トラクターや苗の盗難が増えているのは、農道が整備され過ぎていないからではないか。近道だから通行する車が多く、農業者は困っている。春、秋などの農繁期は特に通ってほしくないの、入口に看板をつけてほしい。	トラクターや苗の盗難については広報等で注意喚起している。場所によっては「農耕車優先」などの看板が立っているところもある。細かい所まで看板を立てることができないか行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 農道であれば、農業者や町内会、土地改良区等の地域関係者と協議し、状況によっては看板設置は可能と思われますが、造成時には農道であっても市道認定されている道路は農業のために看板設置することが難しいため、要望箇所をお示しいただきご相談ください。（農林水産整備課）
37	R3. 5. 13板倉区	公の施設の再配置計画に板倉区の市民の森2施設を廃止すると記載されていることについて、自然環境保全地域に指定されていることから森林環境譲与税で管理費を賄えないかと地域協議会や1月のパブリックコメントで要望したが、採用されなかった。そこから切り口を変えて、2月の上越市森林整備計画の縦覧の際に、意見書を提出したが、直接回答は無く、ホームページに掲載された回答には、意見の要旨欄に意見を簡略化して記載されており、本来の意図と異なっていた。個人市民税に上乗せされている復興特別税が令和6年度をもって、森林環境譲与税に目的を変更して徴収されると国会で決まったが、そのようなものがありながら、管理費に使えないのと思う。個人市民税が市民の望み形で使われるためにも、専門職と相談しながら検討いただきたい。	森林環境譲与税は、林道や森林整備等を目的としているため、光ヶ原高原の森林を整備するために使用するの間違っていない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 森林環境譲与税は、市町村において、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされており、当日の回答のとおり、当該市民の森の管理運営費の一部に対して使用可能であり、既に財源として充てています。 なお、公の施設の適正配置計画においては、板倉区市民の森2施設について維持管理経費と利用実態を踏まえ廃止としますが、地域団体等を通じた利活用について話し合いをしています。（農林水産整備課）
38	R3. 5. 13板倉区	早朝から県外のトラックが宮島地区に残土を廃棄している。行政が認めているとのことだが、廃棄場所の下には川が通っていて、大雨等で土が流れて来ないか不安。また、残土はきちんと処理されたものか心配。議会でも意識してほしい。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 県外のトラックが宮島地区に残土を廃棄しているところありますが、当該箇所の開発を許可した県に確認したところ、過去、砂利の採取により掘削した地山を復旧するための盛土であり、適切に実施されるよう定期的な現地調査等で確認しているとのことでした。 また、盛土のために搬入された残土に混入する廃棄物に係る指導等についても県に確認を行ったところ、定期的に事業所への立入検査を実施し、適宜指導を行っているとのことでした。 市としては、今後も県と連携し、生活環境の保全に支障が生じることのないよう、状況を注視しながら必要に応じて指導等を行ってまいります。（農林水産整備課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
39	R3.5.9合併前上越市（春日区）	水族博物館における鯨類死亡について、検証委員会の報告及び行政側の回答では、プールの大きさは問題でないとしている。防風壁の設置だけで本当にイルカへの負担はかからなくなるのか。イルカの値段は高く、死亡した4頭には多くの税金が投じられてきた。6頭体制にするのが良いのかというところも行政側へ突き止めて欲しい。	検証委員会の報告書をしっかり見て、疑問に思うところは議論してきた。今後鯨類を増やすのか、パフォーマンスを辞めるのかなど、いろんな意見が出ているが、今後このような悲しいことが起こらないように、当面は防風壁の改修工事などできることから対応していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
40	R3.5.9合併前上越市（春日区）	キャンプブームの影響で、無料で利用できる大池いこいの森キャンプ場とキュービットパレイキャンプ場は、マナーが悪いキャンパーの利用が多い。有料化した方が良いのではないか。また、他市にもあるような車で乗り入れられるキャンプ場も検討して欲しい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
41	R3.5.9合併前上越市（春日区）	謙信公祭時に広場で立ち回りをするとき、以前は席料は無料だったがここ2～3年前から有料になった。これではどんどん人が減っていく。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 有料の残数席については、有名タレントを謙信公役としてお招きしたことにより、県内外を問わず多数来場いただくようになったことから、平成25年の第88回謙信公祭から、安心してゆっくりと臨場感ある演武をご覧いただくために設けたものであるため、ご理解いただきたいと思います。 なお、無料の一般観覧スペースも従来どおり設けています。（観光交流推進課）
42	R3.5.9合併前上越市（春日区）	春日謙信交流館にタクシーの駐車場所を作り、乗り場など広いスペースを確保して欲しい。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 春日謙信交流館には東側（春日山駅側）と西側（駐車場側）に出入口があります。西側は出入口の付近にタクシーが停車できる十分なスペースがあり、安全な乗降が可能です。 タクシーの利用があるのは、おおむね週に4、5回ほどで、その多くは西側の出入口を利用されていると認識しており、利用者から具体的な不便等の声もないことから、現時点でタクシーの駐車場所を設置する予定はありません。 引き続き、利用者の声をお聞きしながら、より利用しやすい施設となるよう管理運営に努めます。（企画政策課、社会教育課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 (概要)
43	R3. 5. 12柿崎区	東京オリンピック・パラリンピックについて、新型コロナの状況に鑑みて、中止も想定して臨まなければならないのではないか。議論が必要と考えるがどうか。	世論調査を見ても、約7割の人が開催に否定的である。ドイツ体操チームの受入れや聖火リレーも間もなく行われる。議会としても状況を注視しながら、十分に議論をしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
44	R3. 5. 13板倉区	関根学園高等学校が春季高等野球新潟大会で準優勝し、幼年野球チームに夢を与えるためにも、野球場を建設するなどのバックアップをしてほしい。	野球場については、現在議会に予算があがってきているものではなく、行政の中でもはっきり決まっていないが、大事な施設であると思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
45	R3. 5. 13板倉区	板倉区の小学校が統合して令和3年に板倉小学校が開校したが、それに伴って廃校した校舎の再利用について、どう考えているか。	議会としてもしっかり検討していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： 文経 ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
46	R3. 5. 12柿崎区	G I G Aスクール構想について聞きたい。タブレットが導入されたが、現場の教師がそれに対応できる余裕があるのか。十分な研修等、支援体制を考えてほしい。	文教経済常任委員会でも議論があり、先進校視察等を通して課題を共有した。教師によって差が出てはいけないので、「G I G Aスクールサポーター」として専門家や上教大の職員が支援に当たり、レベルアップを図っていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
47	R3. 5. 13板倉区	行政は予算がないというが、コミュニティプラザや体育館等の公の施設の利用料が無償というのはどうなのか。市の主権のものが無償なのはわかるが、100%減免はおかしいのではないか。 体育館の利用について、スポーツチーム等の年間予約が入っていて、個人で利用したくてもなかなか使えない。個人利用だと料金を100%負担しなくてはならない。利用について考えてほしい。	合併した当時から、旧町村ごとに料金が一律になっていないが、調整を図りながら今日に至っている。ご意見として行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R3年7月時点)】 公の施設の使用料は、その施設を利用される方から等しく負担していただくことが原則ですが、政策的に軽減する必要がある場合には、その全部又は一部を免除することとしており、平成28年4月から現在の減免基準による減免を行っています。 コミュニティプラザは市民活動の育成及び支援の観点から施設使用料を無料としているところです。 体育施設においては、地域におけるスポーツ活動や青少年のスポーツ活動の推進などスポーツ振興を図るため、スポーツ活動を行う定期利用団体と、それをサポートする市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブの活動に対し、使用料の減免により支援を行っています。 また、定期的に活動するスポーツクラブに対しては、体育施設の年間利用予約を受け付け、日常的な練習の場を確保することにより、その活動を支援することとしておりますが、年間利用予約の受付は公平性を担保するため、広報上越及び市ホームページにおいて次年度の年間利用予約受付を周知しています。 公の施設の使用料の減免基準の考え方は、平成28年4月からの減免基準の見直しに際して地域協議会、町内会長連絡協議会や施設利用者との意見交換会において説明をしてきているところです。 これらの考えの下、市財政は厳しい状況ではありますが、引き続き、公の施設の使用料の減免及び施設利用予約の運用を継続していきます。（行政改革推進課）
48	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	3月定例会を2回傍聴に行った。距離が遠く交通費がかかるので、もっと近かったらいいのにと思う。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/
49	R3. 5. 9合併前上越市（春日区）	議会報告会・意見交換会の実施を定例会の前後にしてほしい。議会前に市民からの要望を聞いてほしい。	結果的にはそうなっている。例えば、今回は3月議会の報告であり、6月定例会前での意見交換会でもある。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	/

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 (概要)
50	R3. 5. 13板倉区	3月議会を3日間傍聴して感じたことは、一般質問で同じような内容が多く、もう少し効率良く進めるやり方があるのではないかと。	議会モニターからも指摘があった。それぞれの議員の思いもあり、質問に枠をかけるつもりはないが、検討していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
51	R3. 11. 8大潟区	市長選について、議員の3分の2が議員団を作って特定の候補を応援するのはどうか疑問であった。個人で応援するのは構わないと思うが、議員団を組織して行うのはどうか。議会改革として考えても、市民の常識から考えてもおかしいと考える。	議会として答えるというよりも、個々の議員で考えた中で応援する形で集まったものであるため、この場でお答えができるものではない。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
52	R3. 11. 9中郷区	市長選について、市民が選んだリーダーと共に、対立ではなく、市民の声を聞きながらやっていくという姿勢を議場で見せてほしい。対立では市民が声を上げにくくなってしまふ。	市民の皆さんが真剣に考え、選ばれた市長には、我々は礼をもって接していく。小さいとはいえ、1,000億の予算を動かす上越市であり、地方のありようが国の行く末を決める。市長から出された方針については、議会としては是非々々でしっかりと議論していく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
53	R3. 11. 9中郷区	市長選について、立候補者の政策も出ないうちから、議員の8割方が落選された候補者について。これはどういうことなのか、個人的には疑問が残る。議員として有権者にどのように説明するのか。議長、副議長には中立であってほしい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
54	R3.11.10名立区	SNSに接することができない市民は情報過疎になっている。その点について、行政に理解してほしい。議会としてもチェックしてほしい。	SNSについては、時代がそうってきている一方で、SNSに接することが難しい方もいる。行政側に伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 広報上越をはじめ町内会を通じた各種配布物の全戸配布・班回覧など紙媒体を通じた情報発信だけでなく、報道機関を通じた情報発信など、あらゆる手段を用いながら市政情報を発信しています。 令和2年度に開始したSNSの市公式アカウントによる市政情報の発信は、インターネットの普及により市民の情報収集の手段が多様化している実態を踏まえ、従前から実施している各種広報媒体や報道機関を通じた情報発信に加えて、情報発信強化の取組として新たに開始したものでありますので、ご理解くださるようお願いいたします。（広報対話課）
55	R3.11.10名立区	広報上越について、なぜ月2回から月1回に変更になったのか理由が不明確である。月1回に変わったことで、市民団体が市民に的確に情報を伝えられない、ということが出てきている。また、原稿の締切日が早い、それは市内部の決裁に時間を要するためと聞いた。市民目線に立って考えていただきたい。	原稿締切が早い現状は理解する。行政側に伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 広報上越の発行回数については、インターネットの普及により市民の情報収集の手段が多様化している実態を踏まえ、市の情報発信の手段や媒体ごとの対象を整理してきた中で、令和2年度から月1回としたものであり、合わせて、令和2年7月からソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）のLINEとTwitterに、同年11月にはYoutubeにそれぞれ市公式アカウントを新たに開設し、情報発信の強化を図っています。 広報上越発行の目的は、市政に関する事項を市民に周知し、行政に対する理解を深める事であることから、市民団体等による情報の掲載については、市が共催または後援をする事業については、依頼に基づき、限りある紙面の中で掲載が可能な範囲で掲載しています。 なお、各号の掲載依頼締切日の設定に関しては、原稿の作成・編集作業、原稿の確認、印刷及び町内会ごとの梱包作業など、広報の作成から配布までの一連の作業に要する時間を考慮し設定しています。（広報対話課）
56	R3.11.6浦川原区	なおえつ うみまちアートが開催され、区内の閉校した校舎から校具が持ち出され、競売されたとのことである。区民はそれらの学校に対して、後援会員として世帯ごとに負担している。売上げを少しでももらえないか。	即答できないので、議会報告会の回答のルールに沿って後日回答する。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 現在、小学校の廃校に伴い不要となった備品は、利用可能な物は他の学校で使用し、それ以外は廃棄する取扱いとしています。旧末広・旧中保倉小学校の備品についても、同様の取扱いをしており、「なおえつ うみまちアート」では廃棄予定であった備品に限り、必要な手続きを行った上で活用したところです。 これは、同事業に参加した作家から、使われなくなった物をアート作品として再生するというアップサイクルを表現するため、学校で不要となった備品を活用したいという申出を受け、市もその考えに賛同し、身近な題材として廃校から間もない旧末広・旧中保倉小学校の廃棄予定備品の活用が適当と考え、提供したものです。 また、制作した作品は利益を得るための販売ではなく、まちの未来を担う子どもたちの芸術・美術活動に役立ててほしいという作家の希望を踏まえ、同イベントで同様の思いを持って主体的に活動された直江津地区のまちづくり団体への寄附を条件に、事業終了後、作品の一部が希望者に譲渡されたものです。 なお、寄附金の受領団体では、作家の意向を踏まえ子どもたちの取組を支援することとされていますので、浦川原区の子どもたちへも還元できるよう意見があったことをお伝えします。（企画政策課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
57	R3.11.6浦川原区	浦川原区などの高校生は、十日町市や六日町に通っている。ほくほく線があるので乗換えがないからだ。高田には乗換えが不便で進学しない。マイルールとして残していかななくてはならない。協力してほしい。	ほくほく線については、いかに維持していくかを行政に求めていきたい。支援策については、ぜひ提言をしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする 	<p>【行政側からの回答(R4年1月時点)】</p> <p>ほくほく線は、移動手段を持たない市民や、市域を超えて通学する学生を中心に、市民生活の移動手段として利用されています。</p> <p>このような状況に鑑み、ほくほく線は維持していくべきものと考えており、昨年9月、県、沿線市町、北越急行による協議会を立ち上げ、事業継続が可能な経営体制を確立するための方策、方向性を協議しているところです。（交通政策課）</p>
58	R3.11.10名立区	北越急行とえちごトキめき鉄道の経営が厳しい。今後どうなるのか。	北越急行もえちごトキめき鉄道も経営困難な状況にある。沿線市や県が地域住民の交通機関として守り抜くために、適切な支援をしていかななくてはいけない。大きなお金がかかる場所には、県や国、JR等が支援をしていくべきだと思う。先日、えちごトキめき鉄道の鳥塚社長の講演を聞いた。コロナ、大雪などにより、大きな負担を強いられ、会社の総資産も少なくなってきた。公が資金を出すなどして維持管理をしないといけない状況になると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする 	<p>【行政側からの回答(R4年1月時点)】</p> <p>地域鉄道は、市民の通勤・通学等に不可欠な公共交通であり、地域と地域を結ぶネットワークとして将来にわたり維持していくことが必要と考えており、えちごトキめき鉄道、北越急行ともに事業者、県及び沿線自治体による協議会を立ち上げ、今後の経営改善や行政支援についての協議を行っているところです。</p> <p>また、将来にわたり鉄道施設の維持管理を、事業者自体や沿線自治体による支援のみで対処していくことは困難であるため、国に対して、支援制度の拡充や補助金の確実な予算確保等を継続して要望していきます。（交通政策課）</p>
59	R3.11.8大潟区	公の施設の適正配置計画で温浴施設が対象となっており、大潟区でも鶴の浜人魚館をどうしていくか議論になっている。市でもサウンディング型市場調査を行っているが、結果について市民には何も知らされていない。手を挙げた民間事業者は温浴施設をどう活用していくのか、積極的な案を示しているのか。	サウンディング型市場調査の結果については、行政にしっかりと伝えて、報告できるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする 	<p>【行政側からの回答(R4年1月時点)】</p> <p>令和元年度に実施した鶴の浜人魚館のサウンディング型市場調査の結果については、施設のリニューアルやコンセプトの転換による集客、施設譲受のうえ民間事業者による運営などの提案があったことを令和2年1月21日から令和3年3月31日まで市ホームページで公表するとともに、令和2年1月23日に開催した大潟区地域協議会において説明しています。</p> <p>なお、令和2年度、3年度においても他の施設のサウンディング型市場調査を実施していますが、結果はいずれも市ホームページで公表するとともに、施設が立地する自治区の地域協議会において説明しています。（施設経営管理室）</p>
60	R3.11.8大潟区	公の施設の適正配置計画で温浴施設を民間業者に譲渡又は貸付していくと、入湯料の価格が高騰するのではないかと心配している。旧13町村では、ほぼ同時期に温浴施設やコミュニティの場を作ったが、思い入れが非常に深い施設まで対象にして、村合併当時1,000以上あった施設が現在660ぐらいに減っている。限界もあると思うので、議会の立場で、議員立法であるべき姿を示していただきたい。その上で、公の施設をどうするのかということを知りたい。市民の皆さんに知らせながら、市民の理解を得ながら改善を図っていくことをしていただきたい。	利用料等の具体的な件について、民間が運営していくことのメリットデメリットは議会でも長いこと議論があった。1,000あった施設が660に減るまで議会でもずっと議論を重ねてきた。地域の皆さんの思い入れが深い施設は残してもらったところもあるし、中には、合理性から考えて無くさなければならないと決断したところもあった。市民の皆さんにとっては不満が残る結果もあったであろう。議会も地域の皆さんの想いをしっかりと受け止めて、新市長の方向性をしっかりと注視し、議論していきたいと思う。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする 	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
61	R3.11.8大潟区	宿泊温浴施設等について、Jホールディングスという持ち株会社を作って改善していこうと市が取り組んだはずなのに、私たち市民が見ても機能していない。議会でも報告されて、機能していないというニュースが市民にも届いている。そこもしっかり踏まえて、温浴施設については市として、または議会としても厳しく対応していくべきではないか。もう少し力を入れていただきたい。	ほとんど全ての温浴施設が公の施設の適正配置計画の中で、個別計画の対象になっている。第三セクターが事業の採算性があるのか、公共事業として継続の必要があるのか、あるいは民営化の方が良いのかという議論がある。新市長がどう考えていくのか、それに対して議会がどう議論していくのが課題になっていくと思う。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
62	R3.11.8大潟区	うみてらす名立に関しては、国の「道の駅」というバックボーンがあり、収益性を上げようと思えば上げられるし、国から補助金も出ているから市としても口は出せないのではないかと思います。そこは違があるのではないかと。私たちは地元の温浴施設を守りたいと思うのでよろしくお願ひしたい。	うみてらす名立に関しては、民間と今の事業者とでその事業のあり方がふるいに掛けられている。民間経営と施設管理者とで天秤にかけられるのはひどいのではないかと、地元の皆さんの思いがあり、地域活性化のために作られた施設であるのに、という心配の話もあった。それについては担当課とも話して、今後は地元の皆さんと存続意欲についてしっかり確かめていくことを確認した。選定の基準として、地元の雇用の問題と地域活性化は点数として大きい。一概に採算が合わないからすぐに無くす、または民間にするという結論にはならない。いずれにしても新しい市長がどういう考え方をしているのかを見定めて、議会は市民や地域の皆さんの想いをしっかりと反映できるような取組をしていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
63	R3.11.10名立区	公の施設の適正配置計画について、これまでは廃止の方向で動いてきたが、公の施設は地域コミュニティの中心であり、赤字だから廃止すべきという話ではない。施設を活用して、どのように地域の活力としていくかという発想が必要だと思う。その施設を造った時のことを思い出して、地域の活性化のために使うという方向で考えてほしい。	ご意見として承る。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
64	R3.11.6浦川原区	原発に関しては、福島第一が未解決であるが、柏崎刈羽原発の稼働ありきで進んでいると思うが、議会としても発信していくべきではないか。再稼働はすべきではない。廃炉にすべきだ。党派を超えてお願ひする。9月議会で大雪などの複合災害に関する質問があったが、それだけではない。防空の面でも、弾道ミサイルが一つ落ちたら、どうにもならない。美浜原発も40年超えても運転するというが、市民の代表である議会としてもアピールすべきではないか。	原発事故の避難に関しては県が取り組んでいる。我々もしっかり物を言っていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等での対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
65	R3.11.6浦川原区	町内の唯一の防災士が死去したので、自分が資格を取った。行政との意思交換が必要だと思う。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 個々の防災士との意見交換はしていませんが、防災士が所属している上越市防災士会の役員と適宜意見交換し、市と防災士会が連携しながら防災事業を展開しているところです。 防災士の皆さんにおかれましては、自主防災組織等の防災活動方法など不明な点がありましたら、ご相談いただきたいと考えています。（市民安全課）
66	R3.11.8大潟区	各戸に配布されたハザードマップで使用された地図もそうだが、大潟区の小学校の子どもたちを案内するため地図が欲しいと言ったら、2008年に撤去された波浪観測所の桟橋が残ったままの昔の地図が出された。特にハザードマップで古い地図が使用されていることは市としてどうなのか。高田地区は新しくなっているようだが13区の地図は更新されている様子がない。上越体操場ジムリーナすら載っていない。3年に一度、5年に一度でも良いが、改正する際にはきちんと最新の地図を利用してほしい。	この件に関しては全くもっておっしゃるとおりだと思う。なぜ新しい地図が使われなかったのかという理由は今の場では分からないが、ごもっともな意見であり、なぜ古い地図を使ったか、どれくらいの期間で修正できるのかなどしっかり行政に伝えていただしていく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 市の洪水ハザードマップは、国又は県が公表している洪水浸水想定区域図等に基づき作成しており、ご意見のあった令和3年8月改訂の洪水ハザードマップについては、国及び県が平成29年度までに調査・公表した関川の洪水浸水想定区域のデータをメインに作成しているため、市でも平成29年の地図データ(国土地理院基盤地図情報)を使用しているものです。 今後、洪水ハザードマップを全面改訂する際には、国や県に、洪水浸水想定区域図等の調査年度と使用地図の作成年の妥当性を協議しながら、最新の地図情報となるよう工夫します。（危機管理課）
67	R3.11.6浦川原区	飯室の消火栓ボックスが劣化している。総合事務所に相談したが、町内会で直すのが当たり前だと言われたため、町内会で対応しているが、負担が大きいため1年に1か所しか直せない。市の補助金等はないのか。ホースが2本しか入っておらず、半分の家屋には届かない。消防団員が駆けつけるには30分かかかる。団員以外は消火すると言われていたが、現実的ではない。地元で初期消火できるように、少なくとも消防団員OBは消火栓を使用できるように、行政で何とか対応してもらえないか。	総合事務所で補助等がないと言われたならそのとおりである。消火栓を誰でも使えるようにするのは難しい。ただし、消火栓ボックスの修繕やホースについては、要望として受け止めて行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 消火栓付近に設置されているホース格納箱（ホースなど収納品含む）については、合併前に旧町村で設置していたところもありますが、平成17年の市町村合併協議において、市ではホース格納箱を設置しないことに統一したため、町村所有の格納箱を町内会へ無償譲渡しました。したがって、現在は町内会が独自に設置したものも含め、全て町内会の所有となっており、所有者である町内会に維持管理をお願いしています。 なお、消火栓を使用した消火活動については、危険を伴うことから、日頃から訓練を積んでいる消防署や消防団にお任せいただき、市民の皆様からは、十分に安全が確保できる範囲で、消火器や水バケツ等を使用した初期消火や避難誘導をお願いしています。（危機管理課）
68	R3.11.10名立区	消防団員の確保について、これまで親が子どもに声を掛けて加入を促してきたことが多かった。地元の消防団に入るべきということを市からももっとPRし、各家庭でも親から子どもに声をかけるようにお願いしたい。	消防団員のなり手が少なく、消防団の再編成をしている状況である。消防団員になっていただける人が増えるように行政側にも話をしていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 平成31年3月に消防団適正配置検討委員会から団員確保など、消防団の課題への対応に関する提言を受け、消防団自らが「今後の体制・資機材等に関する整備計画」を作成し、随時見直しを行っています。当該計画には、ご意見をいただきました団員確保の取組も盛り込まれており、消防団から鋭意、個別の勧誘活動などの取組を進めていただいているところです。 市としても、町内会や事業所などの関係団体の皆様からも協力いただきながら、消防団が進めているこれらの取組を支援するとともに、いただきましたご意見も参考にさせていただきながら消防団員の確保に関するPRを行うなど、今後も消防団員の確保に努めていきます。（危機管理課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
69	R3.11.6浦川原区	総務常任委員会主催の「住民自治・地域自治について市民のご意見をお聴きする会」に参加した。7、8割の参加者が、地域協議会の在り方に不満を持っていたと感じている。それを踏まえ、来年4月に提言することだが、今後の方向性はどうか。	いろいろな側面があり、現在は意見を聞きながら議論している段階である。新市長の下で今後も慎重に検討していくべきであり、現時点では結論めいたことは言えない。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
70	R3.11.8大潟区	過去、議会と地域協議会が交流しようとなり、年に1回程度交流が実施されたが、議員が地域協議会を理解するには年に1回では少ないのではないと思う。地域を作るために、4期、5期と頑張っている委員の方もいるので、議会としても、もっと地域協議会を支援する体制づくりを考えてほしいがどうか。	住民自治、地域自治のあり方について検証していくときに、議会としてもしっかり議論を深めていかなければならないし、交流もすべきだったが途絶えてしまった。新市長のブロック制にするという考え方について、特定の議員と政策協定をしたが、その行方をしっかり注視していきたい。総合事務所、町内会と地域協議会、地域自治区との関係性、また議員も住民の皆さんの考えや意見を集約して、それぞれのメンバーがどう地域との関係性を持って、どういう役割でやっていかなければいけないのか考えていかなければいけない。地域協議会でも自主的審議事項のあり方や審議をする時の基準がバラバラであり、今までこれは実験的に行われてきたと担当課から説明があったが、合併後もう16年経っている。もう実験ではない段階である。本当に地域協議会が役に立つものになっていく、地域自治区というものが我々の発展のためにどうしても必要なのだということであれば、今、検証して更に良い組織にしていかなければならない。それは、議会が提言を出したからなんとかなら、それで行政にやらせるのではなくて、まさに、市民の皆さんと一緒にこれから先も考えていくことで、長い時間はかかるかもしれないが、我々の街の自治というものが一歩でも二歩でも進んでいくのではないかと思っているもので、そのように議会もしっかり取り組んでいきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
71	R3.11.8大潟区	(No20の回答を受けて) 「実験的」という言葉が気になった。委員として、今まで自分たちは実験だったのだろうか違和感を持った。もうこれだけ時間が経っているので実行ではないかと思う。地域協議会は、旧町村から持ち込まれた、地域事業について地域事業予算というものがあってなされたが、それが途中で棚上げされたことに大きな問題があると思う。その辺の検証をぜひお願いしたい。	まさにそこが大きな問題だったと議会でも認識して、議論を進めている。各地域でこの地域をどうやっていこうかという計画を立てるはずだったが、立てられなくなった、立てることをしなくなったという、その辺も大きな問題だった。本当に自治の担い手として、皆さんがやろうという機運が高まったのに、やらなくなったことは大きな問題なので、そこはしっかり検証したいと思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
72	R3. 11. 9中郷区	総務常任委員会の所管事務調査について、地域協議会も調査対象となっているが、協議会の場には決まった議員しか訪れていない。現場の様子や地域協議会委員の声があまり反映されないような調査なのか。今後の地域協議会の在り方等も含めて、どのような調査をし、どのような提言をするのか、話せる範囲で教えてほしい。	議員だけで考えるのではなく、総務常任委員会と市民の皆さん、地域協議会の皆さんとの意見交換会を7月に行った。それをまとめたものを来年3月を目途にパブリックコメントに近い形で見ていただきご意見をいただく予定である。地域協議会は市長直轄の諮問機関であるが、今後もできる限り現場の声を反映できるよう努力していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：総務） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
73	R3. 11. 6浦川原区	男女共同参画審議会委員になったが、審議過程では、委員が言いっぱなしで、採択がない。これでいいのか。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 今年度8月に開催した審議会については、採択を要するものではなく、各事業の取組や意識調査の項目に関し、委員からご意見をいただくことを目的として開催しました。 次回以降は、それぞれの議事に関して、委員から意見を求める協議事項なのか、審議会としての議決事項なのかについて明確にした上で、会議を開催してまいります。 なお、委員からの意見や質疑等は、各事業の今後の取組を進めていく上で、各担当課等において参考とさせていただきます。（男女共同参画推進センター）
74	R3. 11. 8大潟区	昨冬は大雪により市民生活にも大きな影響を及ぼし、大潟区海岸一体は砂防林が大きなダメージを受けた。県もようやくドローンで調査を始め、その後対策とのことだが、今更現地調査とは遅過ぎるのではないか。松の木は倒れて、私たちは「みどりの羽募金」でまちづくり事業に参加して、この春、倒れた木を切ったりしているが、実態調査と対策が大変遅れていると思う。上越市は長い海岸線で砂防林があるので、議会から県の方へ強く訴えてほしいと思う。倒れていても、助かる木もあるはずだが、それらがそのまま放置され一夏が過ぎている状態。市も調査しているのだろうか。何も手をつけていないことを見ると、放置していると思われる。この秋、松くい虫の問題も顕著に見られた。最近の傾向を見ると、くびきの森林組合が県に頼まれて木を切ったりするが、それは現地で切って、現地で薬で処理してそのまま放置していく。そのまま木々は放置状態なので、そのせいでかなり森林内が荒れ放題である。切った木を処理しないと、私たちも森林内の草刈りがあるのだが、中にも入っていけない。犀潟でも折れた木を切ってくれても、そこに放置したまま。実態調査をして、改善策を検討してほしい。県の調査とあわせて、市からでも、議会からでもぜひ県へ強く申入れをしていただきたい。	大潟区の林の災害については、過去にもご指摘をいただいている。また、しっかりと県に対応してもらおう働きかける。市が取りまとめている大雪災害対応の検証結果では、市で担当している、農業でいうとハウスの災害などは検証の中に入っているが、砂防林・立木については県の管轄ということで含まれておらず、そのままになっている状況がある。県ともしっかりと連携して、対応をお願いしていくよう働きかけていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 海岸保安林については、新潟県が被害の実態を把握するためにドローンによる空中撮影と現地調査を行っており、令和3年度末を目途に調査結果が示され、令和4年度以降、保安林整備を行う予定と聞いています。市としても引き続き保安林整備に向け、県に働きかけを行ってまいります。 松くい虫の被害にあった樹木の処理については、市が森林組合に委託しており、周辺の松に被害が及ばないよう被害木を玉切りにして、シートで被覆し薬剤処理を行った上で、現地に存置しています。 存置した被害木については、搬出すると経費等も掛かることから、松の根の周囲に存置するなど出来るだけ草刈りの支障ならないよう対策を講じていきます。（農林水産整備課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
75	R3.11.10名立区	昨冬の大雪により、名立区でも2つくらい孤立集落が出た。総合事務所に地元の方が少なくなってきた、現場のことを理解してくれる人が少ないのではないかと。災害時は命にも関わることであるので、総合事務所の体制を整えてほしい。名立ICの除雪が間に合わないことが多いので、県や国と連携しながら、確認し取り組んでいただきたい。	大雪については、上越市全体で検証を行っており、このほど結果の報告があった。ICの除雪についても問題があったと認識している。除雪の管轄について、国や県との分担もあるが、連絡を取り合いながら弾力的に取り扱う方針で進んでいる。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
76	R3.11.9中郷区	赤い羽根共同募金について、私の住む地域に、1世帯当たり1,000円の募金を求める封筒が各世帯に配布された。募金であるのに金額を指定するのはおかしい。1世帯といっても事情は様々な中で、一律1,000円というのも不平等ではないか。 【参考】 （他の参加者が回答）そもそも赤い羽根共同募金は、社会福祉協議会の所管である。1世帯1,000円というのは、おそらく間違いではないかと思う。町内に回っているのは100円である。1,000円という額は町内独自のものかもしれない。確認して整理する。	募金の在り方について、このようなご意見があったことを担当課に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 （赤い羽根共同募金は、上越市社会福祉協議会が事務局を務める「上越市共同募金委員会上越分会」の実施事業であることから、意見について、上越市社会福祉協議会に伝えました。）（総務監理課）
77	R3.11.10名立区	議会だよりを興味深く読ませていただいている。一般質問にもあった子育て支援について、非常に重要であると考えている。子育てジョイカードについても、実際に使用してみても、助かった。コロナにより経済的困窮が拡大している中で、J A女性部としてフードバンク事業に対してお米の寄付をしている。お米は玄米での希望があり提供しているが、精米する必要や運搬の費用がかかる。市としては、フードバンク事業についてどのような対応をしているのか。	活動へのご協力に感謝申し上げます。行政も子ども食堂やフードバンクに対して、お金の支援というよりも、実施団体がどのような状況で困っているのかという情報収集を行っている。現場の活動の中での苦慮を、意見として行政側にも伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 市では、フードバンク事業を行う団体と運営上の課題等について協議を行い、人員確保の面や、物資の保管場所確保の面での課題を解決できるよう、国・県の補助制度の紹介や市施設の提供及び使用料の減免など、取組の強化に向けた支援を行うとともに、支援を必要とされる世帯へ情報を届けるため、児童扶養手当の受給資格のある世帯に対し、現況届の手続き案内等の発送とあわせ、フードパントリー利用案内のチラシを同封して、周知を行ったところです。 なお、精米に係る費用等については、国や県の補助金等の活用や運営ボランティアにより行われています。（こども課）
78	R3.11.9中郷区	地域支え合い事業について、地域のまちづくり振興会に運営を委託されているが、特に13区において運営が難しくなっている状況である。マンパワーの不足が一番の要因である。あるところは社会福祉協議会に再委託をしているが、それも厳しい状況であり、支所の再配置やブロック分け等の構想案も出てきている。65歳以上の元気な高齢者が通える場所の需要はこれから更に高まる。しっかりと現場の検証もして、予算をつけて運営をしていただきたい。	13区が先行してやっただけで、マンパワー不足等の課題があることも承知している。委員会としても調査研究して、地域の実態も聞きながら考えていきたい。声を聞かせてほしい。なお、大潟区では毎年ご意見を聞きながら進めている。様々な課題についても少しずつ改善できるよう努めている。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： 厚生） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
79	R3.11.6 浦川原区	保育園の民営化に当たり、市の補助制度がないと民営化は困難である。	行政に伝える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する ■ 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答（R4年1月時点）】 市立保育園の民営化は上越市保育園の再配置等に係る計画に基づき実施してきているもので、移管先事業者が将来にわたって園の運営が可能となるよう、経済的な負担軽減を目的に、建物や土地を無償で譲渡または貸付を行うなどの支援を行ってきているところです。 また、民営化前年度に移管先事業者職員と市職員と一緒に保育を行い保育や調理業務を引き継ぐ「合同・引継保育」を実施しており、市では移管先事業者の人件費を全額負担する補助制度に基づき、支援を行ってきています。 このほか、移管先事業者が円滑に職員を確保できるように職員採用に係る説明会の実施に対する支援なども行っているところです。（保育課）
80	R3.11.8 大潟区	9月定例会の厚生常任委員会において、保育園に途中入園できない理由の質問があったが、回答として人員不足が挙げられ、「必要な職員を確保できるよう引き続き努力していく」ということであった。その回答であれば、努力した結果、人員不足がどれくらい改善されたのかしっかりと見てほしい。	市の答弁では正規職員を多く採用するという回答はなく、「引き続き努力をしていく」ということであるので、来年度以降も同様にしっかりと注視していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
81	R3.11.9 中郷区	子育てジョイカードについて、現在、商品を5%引きにする企業があるが、これを10%引きにした方が企業も売上げが伸びるのではないかと。企業負担分について市でもっと支援ができないか。	10%引きにすると、企業の負担が増える。シニアパスポートの減免分は市が負担しており、子育てジョイカードも同様にと考えているが、そのためには企業が実績報告書を作成しなければならず、企業の事務負担が増えてしまうので、市は検討中ということである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
82	R3.11.6 浦川原区	日本は輸入超過になっているが、農産物など国産物を増やしていかなくてはならない。最初はコスト高になるが、今からいろいろな分野で国内産物重視を進めていくべきと思う。	そのとおりでと思うので、そのように進めていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える ■ 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
83	R3.11.6浦川原区	山間地の林と田んぼを保全してほしい。原因は米の値段が安いからだ。山間地の米価を倍にすれば農業参入の意欲になる。林業も、森林組合は切りっぱなし。何とかしてほしい。	米価だけでは解決しないのではないか。後継者確保も問題である。とりあえず米価は問題。一時的な補助ではなく、継続的な施策につながるよう声を出していきたい。森林は保全不全だと災害にもつながる。国・県・市が連携して対策できるように提言していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
84	R3.11.9中郷区	農業の担い手が不足している。中郷区藤沢地区も法人として補助金等を活用しながらやっているが、米価の下落で昨年は赤字だった。働いていただいている方の時間給の削減等で何とかやっている状態である。今後、市としてどのように農業を守っていくのか。	その地域の特性や実情に合わせた施策や取組が必要。担当課の方でも国や県をはじめとする様々な支援策をご紹介できる。課題があれば、市の農林水産部に相談に訪れていただきたい。議会としてもしっかりと取り組んでいく。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
85	R3.11.10名立区	佐渡はお米を無農薬で育てている。ある農薬が子どもたちの発達障害の原因かもしれないとの報道もあった。上越市でも無農薬での栽培を進めていくという考えはあるか。	無農薬栽培は大事なことだと考えている。上越市も、薬剤が環境に与える影響については敏感に考えており、こだわって取り組んでいる。例えば、道路脇の除草について、薬剤の使用を提案したこともあるが、上越市としては環境面からその使用を禁止している。行政側にもご意見を伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 市では、従来から化学肥料及び化学合成農薬の使用を5割以上低減した環境保全型農業に取り組んでおり、実施組織数及び実施面積は、ともに県内で、化学肥料と化学合成農薬を一切使用しない有機栽培で米を育てている面積も県内有数の実績となっています。 有機農業は化学合成農薬が使用できないため、慣行栽培に比べ、除草作業に多くの労力が割かれることから、取組面積の拡大は難しい一面もありますが、安全・安心な農産物の生産を推進するため、市としても引き続き有機農業をはじめとする環境保全型農業の取組を支援していきます。（農政課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
86	R3.11.10名立区	ウッドショックについて、どのような状況でウッドショックになったのか説明が必要ではないか。市が資源調査をする予定はあるか。川上（原料）、川中（製品）、川下（販売）で考えていかなければいけないが、川中が衰退している現状があり、そこに対応していかなくてはいけないと思うがどうか。	資源調査については、森林組合にお任せしている状況であり、上越市は直接的に行っていない。森林環境譲与税の活用についても今後考えていくべき問題である。また、人工林整備も進めており、吉川区河沢地区では令和2年度から30haの整備にも取り組んでいる。本年6月から森林管理事業体を公募して更に整備を進めていく予定である。日本の森林整備については、木は50年経たないと使えない、また海外材の使用が主流になってきた、などの現状がある。製材する事業者としては、木を切ってもすぐに使えず、乾燥の必要性があるため、乾燥機の取得に対する補助金などの支援も必要であると考え。コロナにより、消費の動向が変わってきた。世界的に家を建てるという需要が増え、日本に入ってくる木材が少なくなった。また、コロナにより、コンテナが不足し、日本への輸入が少なくなった。中国が木材の買い占めている。など、それらの理由が重なって、ウッドショックが起きている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
87	R3.11.9浦川原区	上沼道の工事が進んでいない。議員の責任もある。議員が力を尽くさないと進まない。ひょっとしたら安塚区で止まってしまうのではないか。国会議員にも責任があると思うが、十日町方面の議員と上越市議会議員で連携して力を尽くせ。山の地肌がむき出しになっており、地震が起これば大変だ。	上沼道はそのとおり。県は環境アセスメントがまだだと言っている。儀明トンネル付近の山並みの地盤が悪く、そこを迂回しないと難しいとのこと。みんなが力を合わせていけば進むだろう。調査を早く進めるよう要望する。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 上沼道沿線市町で組織する「上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会」において上越市長は会長を務め、当路線の整備促進に向け先頭に立って要望活動を行っています。また、同盟会には国会議員、県議会議員、各市町の議長に顧問・参与として参画してもらい、議会と行政が一体となって活動しています。 今後も沿線市町が連携して、整備区間の早期完成及び、未着工区間の調査推進、早期着工が図られるよう国、県へ強く要望していきます。（道路課、危機管理課、河川海岸砂防課）
88	R3.11.9中郷区	ガス水道局庁舎にある地中熱融雪設備の広さはどのくらいか。設置費用はどのくらいか。費用対効果はあるのか。	実証実験を行った駐車場のおよそ5分の1の広さであり、設置費用は約2千万円程度である。国の実証実験として行っているもので、7～8割は国費である。国は効果を見た上で、活用範囲を広げていくようである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
89	R3.11.9中郷区	佐渡汽船株式会社に対し、今回約2億4,000万円の支援をするが、仮に毎回要請がある度に払い続けられるのか。航路は国道である。今後を見据え、積極的に国から予算を持ってくる取組も必要なのではないか。冬期は海が荒れて、通年観光も難しい。市としてもっと国に積極的に働きかけてほしい。	国の支援が必要というご意見はおっしゃるとおりで、委員会内でもその話が出ている。航路が国道であるということも承知している。今回の支援は、県と佐渡汽船、佐渡市そして上越市と、この4者の様々な協議を経て決まってきたことである。県と佐渡市は既に支援を決めていたが、上越市はあかね処分に伴う補助金の返還にあわせて判断することになり、この度のこととなった。ここに至るまでには様々な協議を重ねてきたことをご理解いただきたい。国への働きかけは今後も強く行っていくべきと考える。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
90	R3.11.10名立区	佐渡汽船の航路は、頑張っても黒字にはならない。小木直江津航路は天候によって荒れるので、一企業では難しい。3～5年後には小木直江津航路を廃止し、新潟航路に集約すべきではないか。	ご意見としては理解する。小木直江津航路は、佐渡市民にとって生活航路でもあり、上越市にとっては重要な観光航路でもある。新幹線の延伸や（佐渡金銀山の）世界遺産登録により、今後も需要が高まることが予想される。一概に廃止すべきではないと考えており、議会としても航路存続のために議論を重ねている。国や県とも相談しながら、航路を維持していきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
91	R3.11.8大潟区	海岸のゴミ対策の問題について、県外からみんな釣りに来て、キャンプもする、そして、ゴミを置いていく。市の条例として、車1台につき500円を取って、それをゴミ清掃の費用に充てるなどする条例を作れないものか。ゴミはそのまま、トイレと水は使っていく、地元の人が黙ってゴミ拾いをしている状態である。週末になれば県外ナンバーばかりで、そういう方からお金を徴収して、夷浜、西ヶ窪、犀潟などで人を雇って清掃するなどの条例は作れないだろうか。	夷浜地区では年4～5回、町内や地域、各団体やボランティア、小中学生等と海岸清掃をしている。来る人を制限することもできず、お金を取るとなると常駐する人が必要となり、その分の負担も出る。何ができるか地元でも検討しており、これについては本当にご意見や知恵が欲しいと思うところである。ゴミを捨てるというモラルの問題もある。県の管轄ではあるが、市も連携して検討していくよう働きかけていきたい。大潟区では、大潟観光協会が四ツ屋浜のキャンプ場を管理していて、貸付料などを取っている。管理の仕組みを作ることは大事だと考える。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：農政建設） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
92	R3.11.6浦川原区	浦川原区では小学校が1つになったが、統合まで9年かかった。おらが学校と守ってきたが、人口減少はどうにもならなかった。問題はその後校舎の取扱いだ。閉校と並行して進めるとのことだったが、知らぬふりである。特別な支援が必要な子どもは市内に多く、浦川原区に作ろうという話もあったが、知らぬふりである。現在の特別支援学校までは距離があり、通学は困難である。ほとんどが母親の負担である。市民の立場で考えていただきたい。支援学校は県立というが、上越市だけが市立を持っていない。自分の市の子どもの教育に責任を持つよう、議会からも言ってほしい。通学者がいれば、大島線のバスも活性化される。	ご意見としてお聞きする。発言者とは、上越市中心身障害者福祉団体連合会との意見交換会でもお会いするので、その時に意見をまとめたい。特別支援学校は県立であり、市議会としても検討は必要だろうが、直接の所管ではない。一般的には検討していくことになるだろう。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：厚生） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 (概要)
93	R3.11.6浦川原区	大浦安では、区を越えた合併が取り沙汰されている。8年も9年もかかっているのは、人がいなくなる。スピード感を持って進めてほしい。学校の配置基準は承知している。しかし、区を越えた統廃合や学校の統合には触れていない。早急に見直すべきだ。	学校統廃合に関しては、行政としても方向が決まっている。新市長が政策化する中で方向が出るだろう。行政の案が出た段階で対処する。それ以前は先進的な議員の間で議論が進められるだろう。大浦安についても、全体の基準の中で検討することになる。地域の文化の中核の面もあり、簡単ではない。子どもの教育にとっての大きな柱であり、その点を考えていかなくてはならない。湯沢町の湯沢学園を視察したが、そこでは子どもたちの目が輝いており、統合も一律悪いとは言えない。板倉でも市民が熱心に議論している。教育委員会の答弁については、経緯が分からないが、しっかり伝え、把握し行動する。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：文教経済） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
94	R3.11.6浦川原区	末広小学校を支援学校にするなら、町内にしっかり打診してほしい。		<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：文教経済） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
95	R3.11.6浦川原区	GIGAスクール構想で端末が配布されたが、普及しているように感じられない。9月段階で、日本語入力とローマ字入力のボタンが分からないというレベルと聞いた。	そのとおりであろうことは議論している。附属中学校では10年以上の実績があり、視察している。3月には各教員の習熟度を把握し、研修を進めている姿を視察した。15日には文教経済常任委員会で2校の現場を視察し、実際に把握する予定である。	<input checked="" type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管：文教経済） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
96	R3.11.6浦川原区	放課後児童クラブでは、子どもたちが密になっている。冬休みは一日中お世話になるが、環境改善が必要と思う。1日体験するなどして、対策を考えてほしい。	具体的にそれぞれのクラブでどんな状況かということは把握できていない。行政は、人数や面積は足りているとのことである。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等（概要）
97	R3. 11. 8大潟区	放課後児童クラブについて問題を感じている。私は現在、教育補助員として働いていて、小学校と放課後児童クラブでの勤務をしている。夏休みになると私たち教育補助員は一旦、退職させられる。しかし、夏休み期間は子どもたちが多くなって児童補助員が足りないということで、結局また来てくださと言われる。市のホームページを確認すると、本年7月の時点で児童補助員が10名程度不足と募集がかけられている。この意味は、今年度3月までで、まだ10名程度足りないという意味で、11月になってもこのページの人員募集人数は変わらない。不足を放置し続けるところが疑問である。今、不足であれば、その努力がどう変わっていったのか。放課後児童クラブや保育園だけが人員不足でないと思われる。必要なサービスが行き届かないようであれば、そもそもその人員不足を当たり前にしてほしくない。議会でもしっかりと話し合ってほしい。	正規職員、非常勤職員については派遣法に引っかけられないようなための対策なのか分からないが、別の取扱いとして雇用時期などを変えている。ただ、専門的な知識技能を持った方がしっかりと児童たちの放課後の教育、又は世話をするという事なので、その対応についてはしっかりと努力していかねばならないと思う。夏休みに大勢の児童が放課後児童クラブを利用する現状、マンパワーがこの状況をしっかりと補うような対応になっていないことは理解するので、教育委員会にもこの意見について伝えていきたい。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 教育補助員は、夏休み期間中は教育補助員として従事できる業務がないため、一度任用期間を区切っています。 長期休業時の放課後児童クラブでは、朝から夕方までの長時間運営であることから、児童クラブの会計年度任用職員（パートタイム）や日々雇用職員のほか、任用期間にない教育補助員や介護員の皆さんを、新たに放課後児童クラブ支援員として任用しています。また、放課後児童クラブで勤務する職員の体調不良等による辞職や特別な支援が必要な児童への個別対応などにより必要数が増減することから、通年でネットワークに求人募集を行うとともに、市のホームページにも求人情報を掲載しています。 引き続き、児童クラブを利用する児童の安全安心と健全育成に向け、人員の確保に努めていきます。（学校教育課）
98	R3. 11. 9中郷区	国や県が令和5年度から本格的に進める中学校の部活動及び小学校の課外活動における外部指導者の採用について、果たして人材が確保できるのか、今後どのように進めていくのか。情報収集に努め、後手に回らぬよう早めに手を打っていただきたい。	9月定例会は令和2年度決算や補正予算の審査であり、関連する項目がなく、直接お答えできる資料は持ち合わせていないが、補正予算で関連する項目があるので報告させていただく。過去に「中学校学習指導支援事業」があり、こうしたことも今後いかされていくのではと思う。質問の詳細等については、教育委員会から何らかの回答が得られるようにする。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 本市においても、近年、少子化に伴う学校規模の縮小や生徒数の減少によって、一部の部活動においては、生徒がスポーツや文化・科学等に親しみ、学習意欲・責任感・連帯感を向上させる本来の機能や役割が失われつつあります。特に集団競技を行う部活動は、部員の確保という観点で、少子化の影響を強く受け、活動に支障を来している部活動もあります。 また、生徒数の減少に伴う教員数減によって、教員数と設置部活動数の不均衡が起り、顧問を配置できないなど、部活動の存続に困難を抱え、部活動を削減せざるを得ない中学校もあります。 このような現状を踏まえ、本市においても令和5年度から段階的に、部活や種目の準備に応じて、休日の部活動の地域移行を進めていく予定です。現在は県が主催する市町村教育委員会担当者会議での情報収集や市町村間での情報交換を基に教育委員会関係課で検討を行っています。今後は学校との意見交換を行った上で進め方を検討していく予定です。（学校教育課）
99	R3. 11. 9中郷区	令和5年度からの部活動の指導員について、中郷区では現場の先生方と相談をしていて、かなり話が進んでいる。先生方は子どもたちのために何とか地域の人材とと考えると、地域もそれに応えようとしている。人材探しが始まっている。議会としてもそれを認識していただきたい。	部活動の指導員については、昨年春日中学校でサッカー部の指導員にモデル的に入っていただいた。教職員の超過勤務等が減少したが、教職員が自分たちがやらなければという責任感もあり、主顧問が17%、副顧問が40%の(勤務時間の)削減にとどまっている。現段階ではまだ課題が多い。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input checked="" type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	【行政側からの回答(R4年1月時点)】 部活動指導員については、令和元年度、2年度、春日中学校サッカー部に1人を配置し、モデル事業を実施しました。モデル事業の検証を踏まえ、令和3年度は、7校に各1人、バレーボール、バスケットボール、サッカー、スキー、ソフトテニス、卓球部に配置しています。 これまでの配置により生徒の部活動への意欲の高まりや技術力の向上、経験のない種目を担当する教員の負担感の軽減などの成果が見られた一方、指導員については、技術指導が可能であることや部活動の目的に則した指導が可能であることが重要な条件であることから、学校からの要望に応じた人材確保が課題となっています。市としては、関係課による連携を図りながら人材確保に努めていきます。（学校教育課）

令和3年度 議会報告会・意見交換会で聴取した意見一覧表

No.	開催日等	意見等	回答等	議会（課題調整会議）の対応方針	委員会等の対応協議結果等 (概要)
100	R3. 11. 10名立区	学校の統廃合が進んでいる。名立、谷浜、桑取の中学校についても話が進んでいくのではないかと。保護者だけではなく、地域の声を聴きながら進めていただきたい。	全市的に学校の統廃合が進んでいる。地域の皆さんからは、学校は地域コミュニティの中心であるという声が聞かれる。しかし、子どもたちの学びを考えたときに、複式学級をなくし学びの環境を整えるべきという考えもあり、統廃合を進めている側面もある。地域の声を聞きながら、良い方向を探っていくべきだと考えている。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
101	R3. 11. 6浦川原区	文教経済常任委員会の所管であるが、文教と経済は無関係であると思う。双方範囲が広いので、切り離してはどうか。	委員会の所管は、全体を見ながら配置しており、立体的に見ていこうという一つの形だと思っている。例えば、うみがたりは、最初企画政策部だったが、その後教育委員会の所管になった。100%完全とは言えないが、今はこういう状況である。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	
102	R3. 11. 10名立区	女性市議が増えて、市議会にどのような変化があったか。	女性が増えたから特別に意識することはない。理事者側との質疑の中で、例えば子育てや介護などについて、当事者としての視点を持つての意見などもあり、議論の広がりが出ているのではないかと。男女問わず、それぞれの経験や視点をいかしながら取り組んでいる。これまでにはなかった様々な視点での質問があり、分かりやすくなったと思う。例えば、生理用品の問題や子育ての問題なども取り扱われるようになり、議論が広がった。	<input type="checkbox"/> 1 委員会等で対応を協議（所管： ） ※調査（行政側から現状を聞くなど）・協議して、結論を報告する <input type="checkbox"/> 2 行政側に伝える <input checked="" type="checkbox"/> 3 当日の回答どおり <input type="checkbox"/> 4 全議員に周知・共有する <input type="checkbox"/> 5 過去に出た意見と同じであり既に協議済（ ） <input type="checkbox"/> 6 保留とする ※現在進行中の事業等の状況や今後の展開等を受けての判断とする	